

三重と森本

## 三重・森本里力再生協議会 役員の顔ぶれ

### 力を合わせて10年目

### 総会で今年度の取組み話し合う

三重と森本が力を合わせて取り組む地域づくりが早くも10年の節目を迎えました。これから皆さんのご協力をお願いします。  
6月15日、役員21人全員出席で総会を開き、空き家対策やまんぐるわ活動などの事業計画や予算、役員体制などを決め、今年度の活動をスタートさせました。



新田 良文



河嶋 英一



河野 矢 秀



谷口 富夫



糸井 錦



芦田 完二



小谷 千弘



坂田 政親



富田 恵輔



糸井 資樹



河島 隆雄



井浪 善之



田崎 喜芳



矢野 義則



田崎 由美子



西垣 英明



岡田 志朗



糸井 正彦

顔のイラストは岡田志朗さんに描いていただきました。



丸井 洋市



糸井 嘉彦

# 三重・森本地域づくり計画(第2次) 策定を進めています

里力活動  
10年

～～来年中の完成めざし～～

当協議会では、今後10年間のまちづくりの指針を示す「三重・森本地域づくり計画(第2次)」の策定を進めています。

10年前の平成25年度に作った「三重・森本里力再生計画」の計画期間が令和4年度で終わることから名称を「地域づくり計画」に改め、新たに将来の「地域のありたい姿」をまとめ、これからの活動の指針にしようというものです。

昨年11月、地域づくり計画策定委員会(委員長 芦田完二:9人)をつくり、10年間の協議会活動の成果と課題、現計画の課題、また三重と森本個別の地区課題や問題点などをゆっくりと話合っています。

今後さらに人口減少が続く中での持続可能な地域づくりの検討やワークショップ、また、今秋には高校生以上の住民の皆さん全員を対象にした「わたしたちのまちづくりに関する住民アンケート調査」を行う予定です。そして

来年中の完成を目指し計画書としてまとめます。ご協力をよろしくお願いいたします。

## 「ガラ星のぼり」のイルミネーション 地域が笑顔になった



当協議会の若者プロジェクト(10人)が、昨年11月下旬から12月下旬の1か月間にわたり「ガラ星のぼり」のイルミネーションを初めて設置した。

コロナ禍、数少ない子どもたちがイルミの前ではしゃぎ、暗くなってから手押し車をひいた高齢女性がマスク姿で見に来られた。感動しました。

今年もやります。(写真は三重JA跡地)

「わたしたちのまちづくりに関するアンケート調査」  
～～今秋実施～～  
◇ 高校生以上 区民の皆さんご協力を ◇

### なぜ、「地域づくり計画」つくる

- ① 三重・森本の地域課題や問題点、その対策、方向性、将来像を誰もが見える形にする。
- ② みんなで共有し、できることから実践する。

### 「人の数」に見合った「地域の大きさ」考える 「集落カルテ」つくります

～～ 三重・森本、両区主体で ～～

人口減少が続くなか、将来にわたり村のすべての共同活動を現状のまま続けることは難しく、これからの「暮らしやすい」を考える基礎資料とするため両区が中心で「集落カルテ」をつくります。

区の運営や公民館活動、各種団体の活動、秋祭り、神社、お寺など合わせると年間どのくらいの活動時間数になるのだろう。数値化し「人の数」に見合った「地域の大きさ」を考えます。

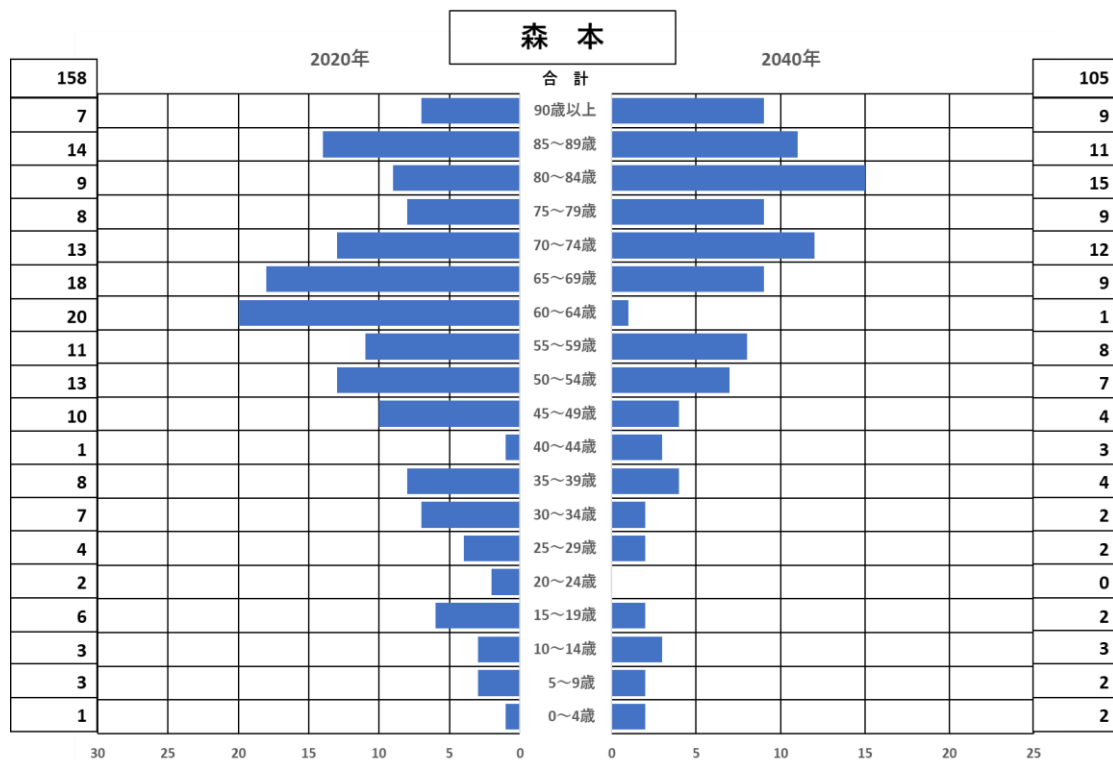
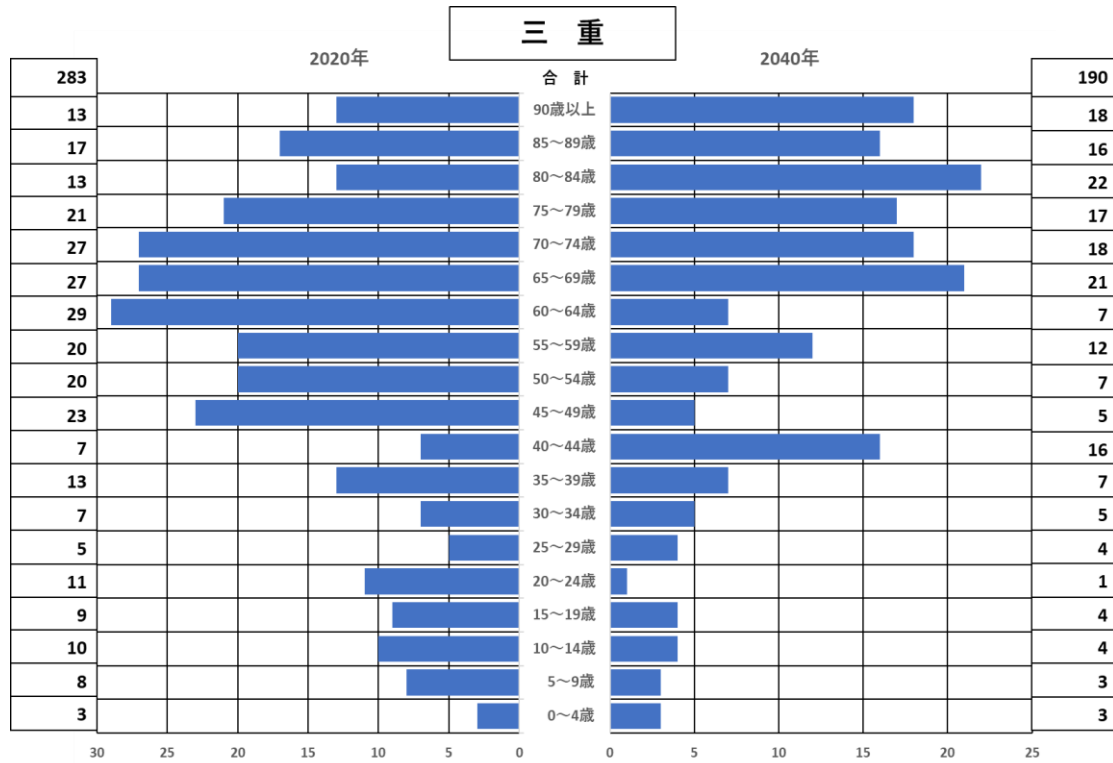
三重区と森本区が別々に各種団体長などから聴き取りを行い、両区それぞれ来年末を目標に「集落カルテ」としてまとめていきます。

この取り組みは京丹後市と京都府の支援のもと、大宮町内多くの地区で取り組んでいます。

皆さん、ご協力をよろしくお願いいたします。

# 三重 33%減 森本34%減 これが20年後の人口

下の表は、令和2年に行われた国勢調査結果から見た三重と森本の人口減少予測です。左が2020年の人口、そして右が20年後の2040年の年代別の人口予測です。20年間で三重が93人(△33%)、森本が53人(△34%)減ります。とくに生産年齢人口(15~65歳)の減少が著しいことがわかります。地域行事や隣組体制、農業、福祉の取組みなど多くのことで今の状態を続けることは難しくなるでしょう。人口減が続く中での地域のありたい姿、一緒に考えましょう。





△ 自動消毒機の横に立つ近藤朋弥さん。  
身長187センチ、体力には自信がある。  
人が好き、お酒が好き、友だちをたくさんつくりたい。

## 一緒に楽しむ 仲間の募集

こだわりの野菜づくりグループ「まんぐるわ三重・森本」(田崎由美子代表 9人)と一緒に活動していただける方を捜しています。

低農薬、有機質肥料のこだわりの野菜作りをご理解いただける三重と森本の人ならどなたでも大歓迎です。どうかメンバーまでお声掛けください。

### 《活動内容》

毎月1回の朝市(冬季休み)、お盆の小菊、数か所の店で野菜販売など  
年末白餅、こんにゃく販売、バラ寿司、弁当、ぼた餅づくりなど。

### 《活動目的》

自分自身の元気づくりと地域の元気づくりのお手伝い。

## パワフルに何にでも挑戦

### 近藤朋弥さん

#### 4月から森本アグリで働いています

毎日、汗と土にまみれて頑張っています。

昨年5月から6月の2か月間、森本のお試し住宅で生活をしながら農業研修を積んだ近藤朋弥さん(22歳)。今年4月から森本アグリ(株)の正社員として働いている。

神戸市出身。実家は農業と無縁だが、大学在学中に大阪市で開かれた農業イベントに参加したのがきっかけで作物栽培の魅力に興味をもった。

「昨年ここで暮らして地域を知った。安心して森本アグリに来られた」と就職を決めた理由を語ってくれた。

秋の収穫に向けて、猛暑の中で水田や小菊などの管理作業が続く。ホームページのブログ更新やSNSを使って森本アグリ認知度をもっと上げたいと話した

アパートで一人暮らし。料理が得意で趣味は魚釣り、自分でさばく。尊敬する人は80歳過ぎの祖父。毎朝筋トレをやりクレー射撃も。とにかく生き方そのものが力強く、つねに何かに挑戦している人である。

「私も森本アグリのやさしい先輩にきたえてもらい、パワフルにそして挑戦する気持ちを忘れず頑張りたい。」

#### おっさん集まり古代米田植え



△ 6月4日、おっさんばかり16人が集まり古代米(赤米)の田植えをしました。子どもを中心に据えた行事ですが、コロナで昨年につきおっさんばかり。腰イターと言いながら和気あいあいでした